

わが国企業の競争力強化に向けて ～「開発力強化」と「地域活性化」の両立を目指して～概要

2014年11月18日
一般社団法人 日本経済団体連合会

1. はじめに

経団連は、グローバルな競争環境下でわが国企業の競争優位を引き続き実現するには他国企業に先駆けて新製品・サービスを市場に提供する必要があるとの観点から、新たな製品・サービス等の開発・試作段階に焦点を当てて検討。併せて、開発力強化を目的とした企業間連携や取引、産学間の連携や協力等を通じて地域外との取引を活性化させることで、地域内に資金等の流入を促し、内部で循環させることによって地域の活性化を図っていくといった産業界としての考え方を提示。

2. 競争力の源泉としての新製品等の開発

① 製品のデジタル化やモジュール化、技術革新のスピードの上昇などを背景に、製品のライフサイクルは短期化。



② グローバル市場で競争力を持つ新製品等を他国企業に先駆けて迅速かつ継続的に提供することが不可欠。



③ その際に鍵を握るのはイノベーション。各社の事例を踏まえると、地域経済の発展とも密接な関係を持つと考えられる。

3. 企業の競争力強化につながる開発力の向上と地域活性化の両立を目指した政策支援のあり方

(1) 直面する課題

【委託企業】

開発力の強化による国際競争力の維持・強化には、スピードと精度を兼ね備えたイノベーションモデルが望まれているが、その構築は容易でない。また、受託企業とのすり合わせに基づいて発揮してきた独自の競争力についても、IT化やデジタル化等の環境変化を考慮すると、今後維持できるかは不透明な状況。



【受託企業】

価格や品質に対する委託企業からの要求が一層強まるとともに、開発工程の分業に対応できる提案力や開発力等が求められている。また、部材や製品のモジュール化や新興国の技術水準の向上等により、相対的に活力が低下している既存の産業クラスターも存在し、受託企業の多くが立地する地域基盤の維持が困難な状況。

(2) 企業間連携の再構築

① 産業クラスターの再生に向けた取組み

グローバル競争への対応と地域活性化の両立を目指すには、地域の持つ様々な資源を有効に活用しつつ、企業自ら地域においてイノベーションを誘発する仕組みづくりへ関与していくことが求められる。
⇒当該地域への企業の集積のみならず、金融機関や大学等の研究機関、関連団体を含めた幅広い形で連携体制を再構築することによる従来の産業クラスターを再生・強化していくことがイノベーション創出への一つの鍵。



② 産業クラスター間の連携

今後は地理的な枠を越え、多くの企業の連鎖や協力による異業種企業間の連携やマッチングなど、オープンな形でイノベーションが生まれる可能性が高いと見込まれる。
⇒産業クラスター間の連携により、各地に点在するクラスターの強みやニッチ市場で高いシェアを持つ企業の特長を一段と活かすことが重要。その際、地方自治体等が企業間の効果的なマッチングを実現させることが必要。

(3) 産学連携の拡充

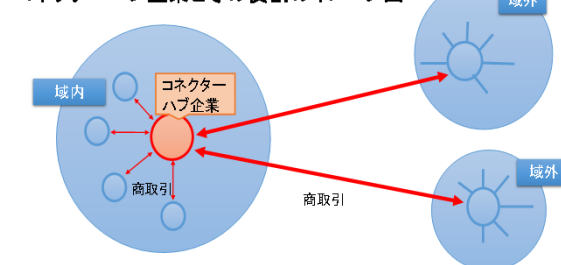
① 企業におけるコア・コンピタンスの形成

受託企業、委託企業共に大学等の研究機関が保有する先進的なシーズを製品開発に活かしてコア・コンピタンスを形成することが必要。
⇒企業自らニーズを発信するとともに、技術指導や共同研究により大学等の研究機関も関連する情報をできる限り開示することで産学連携を深化させ、企業の競争力向上につなげる。

② 人材を通じた地域とのつながり

地域企業が抱える諸課題に対応できる人材を育成・確保するとともに、若年人口の流出を防ぐ必要。
⇒地域の人材育成機関等が輩出する人材の質の向上に加え、適切な雇用機会の創出や人材輩出のミスマッチの防止により地域に人材をつなぎとめる努力が求められる。

コネクター・ハブ企業とその役割のイメージ図



これに、各地の銀行が有する企業情報のネットワークを重ねることで、経済の好循環を促す仕組みを重層化していく。

(4) 新しい連携を支える仕組みの整備

① 活動体の役割: コーディネートの重要性

産業クラスターの参加者がそれぞれ異なる動機を持つなか、連携によるイノベーションを発揮するには、クラスター内の企業と関連機関の協力を後押しするキーパーソンなどの「活動体」が優れたコーディネート機能を発揮して様々な課題(利害調整、工程間のバランス、事業化の見通し等)を解決することが重要。

② 連携を支える制度の活用: 行政の役割

地方自治体の首長によるリーダーシップの下、当該地域経済・社会の発展に向け、関係者の合意を形成するとともに、長期を見据えた戦略の策定が重要。その際、地域の独自性と計画の実効性を担保するため、地域経済の中核をなす企業に着目し、企業側と地域経済が目指すべき方向をできる限り合致させることが必要。

③ 連携を深める役割: 地域金融機関等への期待

当該地域経済に精通した地域金融機関が様々な連携を深めるための役割を果たすことを期待。また、地域金融機関同士が広域的なネットワークを機能を強化させ、わが国全体で企業情報を共有・補完し合うことで産業クラスター間の連携を強化・促進し、販路拡大や開発力強化につなげるのが重要。

4. おわりに

① 今後は、地域の中核を担う企業が、各地域が有する様々な資源に関する情報を把握した上で有効に活用することで、活力を取り戻すことが重要となる。その際には、金融機関や研究機関のサポートに加え、地域全体で目指す発展の方向性や課題を共有することが鍵を握る。
② このような連携が有効に機能し、各地域が自らの強みを活かして様々な形でイノベーションを創出することを通じて、地域活性化に貢献。